

## I 第26週の発生動向 (2013/6/24~2013/6/30)

1. インフルエンザについては、県全体の患者報告数は前週 39 人から 19 人に減少しました。迅速診断キットによる型別では、A 型 9 人、B 型 10 人でした。
2. A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、県全体の報告数が前週の 40 人から 56 人に増加しました。

## II 第26週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ					9	0.6			7	0.8	3	0.5	19	0.3	-20				
小児科 (74) RSウイルス感染症			1	0.1	1	0.1							2	0.0	-5				
(75) 咽頭結膜熱	5	0.6							2	0.3			7	0.2	2			5	0.6
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.0	7	0.8	25	2.8	1	0.2	12	2.0	3	0.8	56	1.4	16			8	1.0
(77) 感染性胃腸炎	32	4.0	14	1.6	9	1.0	6	1.2	14	2.3	14	3.5	89	2.2	10			32	4.0
(78) 水痘	16	2.0	2	0.2	4	0.4	1	0.2	8	1.3	11	2.8	42	1.0	10			16	2.0
(79) 手足口病					6	0.7			21	3.5			27	0.7	-3				
(80) 伝染性紅斑															0				
(81) 突発性発しん	8	1.0	5	0.6	5	0.6			7	1.2	1	0.3	26	0.6	5			8	1.0
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ	1	0.1	2	0.2					10	1.7			13	0.3	3			1	0.1
(84) 流行性耳下腺炎			14	1.6				2	0.4	1	0.2		17	0.4	5				
眼科 (86) 急性出血性結膜炎								1	1.0				1	0.1	1				
(87) 流行性角結膜炎					1	0.5	2	2.0					3	0.3	-4				
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	1	1.0						12	12.0	14	2.3	0			
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患)：青森市 2 人、弘前 2 人、八戸 1 人、上十三 2 人 (2013 年計:162 人)  
 (39) つつが虫病(四類全数把握疾患)：弘前 2 人 (2013 年計:11 人)

## IV 病原体検出情報 ( ) 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者 2 名 (咽頭ぬぐい液、鼻汁、5/23~24)・・・ライノウイルス (HRV)：弘前 (1)、八戸 (1)
- ・下気道炎患者 7 名 (咽頭ぬぐい液、鼻汁、5/15~5/29)・・・ヒトメタニューモウイルス：弘前 (1)、八戸 (1)、HRV：弘前 (3)、HRV 及びヒトポカウイルス：弘前 (1)、パラインフルエンザウイルス 1 型：八戸 (1)
- ・無菌性髄膜炎患者 1 名 (咽頭ぬぐい液、5/29)・・・HHV 7：弘前 (1)

# 感染症の窓

## カンピロバクター感染症

カンピロバクターは、牛、豚、ニワトリ等の腸管内に常在する細菌で、ヒトに感染すると主に感染性胃腸炎、食中毒等を引き起こします。発育温度は 34~43℃で、酸素濃度 5~10%が必要で、通常の大気条件下や乾燥条件下では急速に死滅します。

症状は、2~5 日の潜伏期間後に、下痢、腹痛、発熱、吐き気、嘔吐、頭痛、倦怠感等を呈します。一般に予後良好ですが、合併症として、急性の四肢脱力症状を示すギラン・バレー症候群を引き起こすこともあります。

予防のためには、肉類、特に鳥肉調理時の十分な加熱 (75℃以上 1 分間以上)、調理器具や手指を介しての生食野菜への二次汚染防止、調理器具の清潔・乾燥を心がけることが重要です。(参考：IDWR「感染症の話」)

2003~2012 年の青森県病原微生物検出情報(県内 10 医療機関)の年間検出数は、腸炎ビブリオ菌は 2003 年の 78 件から 2012 年の 3 件に、同様にサルモネラ菌は 537 件から 19 件に減少しました。しかしカンピロバクターは、365~594 件で年により変動し、明らかな減少は見られず、年間を通して検出され、月別累積検出数は、7~9 月が多くなっており(図)、注意が必要です。

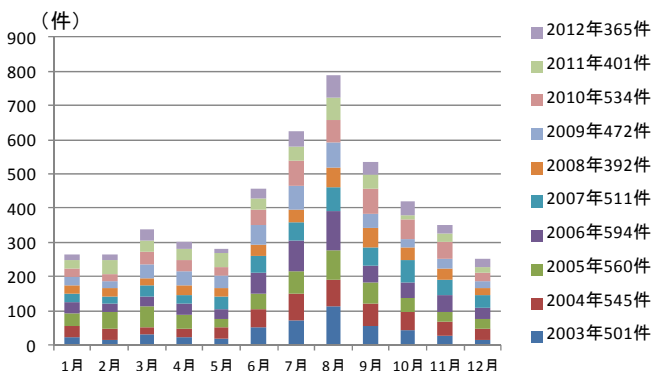


図 青森県病原微生物検出情報におけるカンピロバクターの月別検出数 (2003~2012年累積)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第10週～第25週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
10	H25.3.4 ~ H25.3.10				レジオネラ症 1人		E型肝炎 1人
11	H25.3.11 ~ H25.3.17	風しん 1人					
12	H25.3.18 ~ H25.3.24		腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31		腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	腸管出血性大腸菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	風しん1人
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	後天性免疫不全症候群1人	急性脳炎1人			風しん1人	
18	H25.4.29 ~ H25.5.5			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
19	H25.5.6 ~ H25.5.12						
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人		つつが虫病1人 風しん1人	
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵袭性肺炎球菌感染症1人	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第10週～第25週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
10	H25.3.4 ~ H25.3.10		1		1		
11	H25.3.11 ~ H25.3.17		2		1		
12	H25.3.18 ~ H25.3.24	1	2		1		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31	1	8	2			
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	2	1			1	
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		5	3	4	2	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21	3	3	1	2	1	
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	2	4	2			
18	H25.4.29 ~ H25.5.5	1	2	2	1		2
19	H25.5.6 ~ H25.5.12	2	2	2	1	1	
20	H25.5.13 ~ H25.5.19			3	1	1	1
21	H25.5.20 ~ H25.5.26			3			
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	3	2	1		1	1
23	H25.6.3 ~ H25.6.9					1	
24	H25.6.10 ~ H25.6.16	3	2	2	2		1
25	H25.6.17 ~ H25.6.23	1				1	1

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

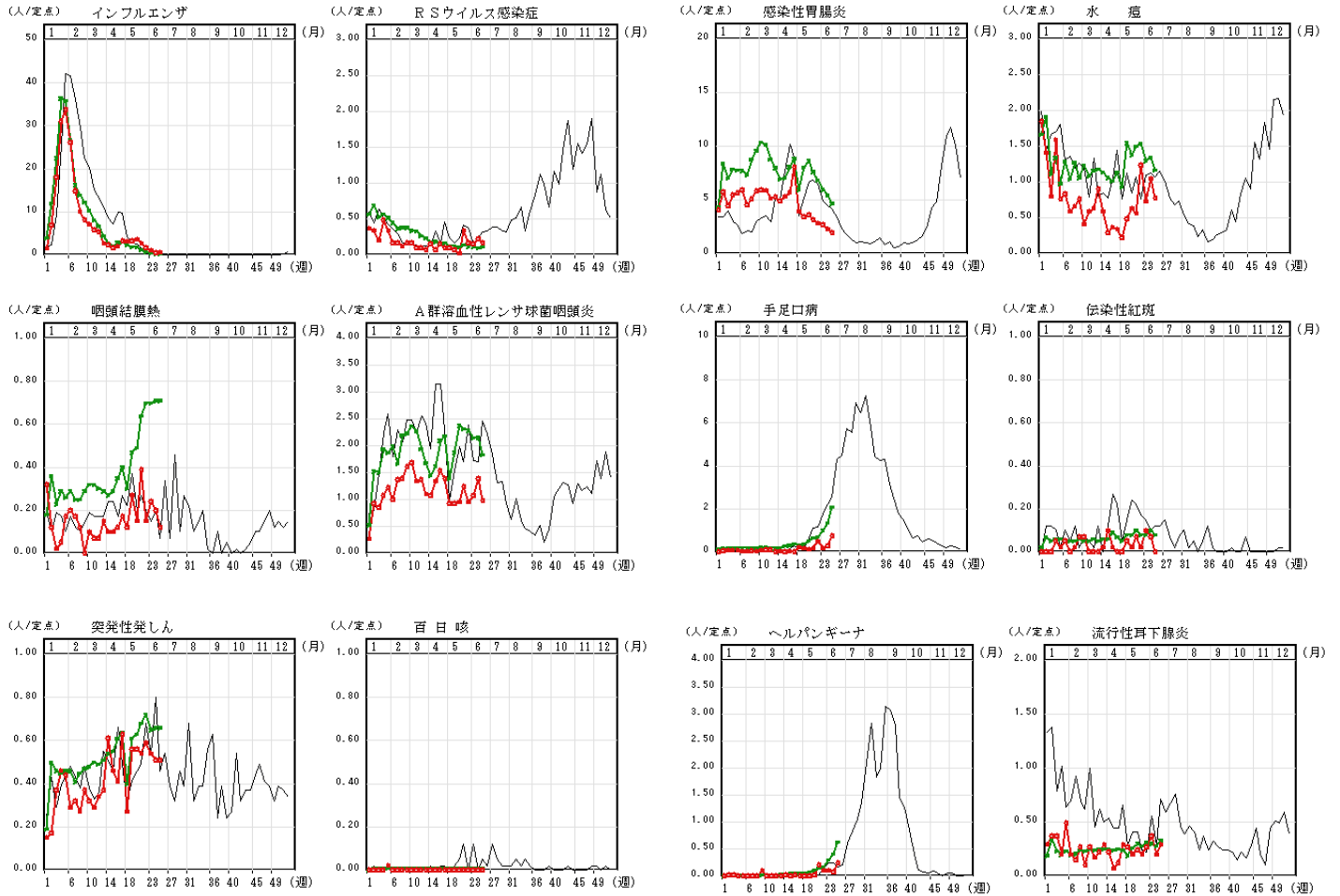
(2013年第1週～第24週累計)

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	類鼻疽
全国	11288	1	60	506	27	32	61	76	7	6	2	3	20	6	100	72	25	1	18	1	2
青森県	150	0	0	17	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎菌性髄膜炎	
全国	310	4	462	118	192	1	78	100	688	33	37	10	376	6	487	54	30	10822	145	2	
青森県	1	0	2	0	2	0	1	1	2	0	0	0	1	1	1	1	1	7	0	0	

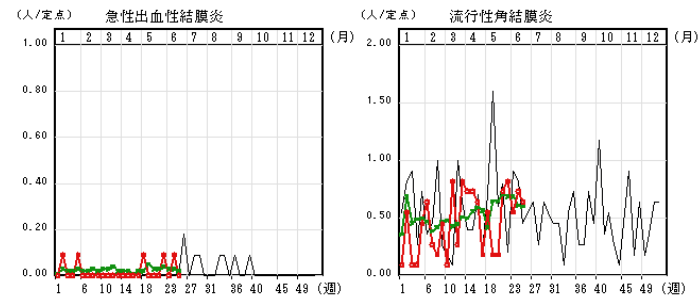
Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2013年第25週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2013年第25週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2013年第25週

